

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	富山クリエイティブ専門学校
設置者名	学校法人 片山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	デザイン学科 (グラフィックコース)	夜・通信	118 単位	6 単位	
	デザイン学科 (イラストコース)	夜・通信	118 単位	6 単位	
	デザイン学科 (Webデザインコース)	夜・通信	118 単位	6 単位	
工業専門課程	建築学科 (建築設計コース)	夜・通信	204 単位	6 単位	
	建築学科 (インテリアデザインコース)	夜・通信	204 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務所備え付け
---------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	富山クリエイティブ専門学校
設置者名	学校法人 片山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所備え付け
---------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 顧問	令和元年 4月1日より 令和3年 3月31日まで	学校法人の管理 運営機能の一層の 充実を図ること
非常勤	株式会社 代表取締役会長	令和元年 4月1日より 令和3年 3月31日まで	学校法人の管理 運営機能の一層の 充実を図ること
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	富山クリエイティブ専門学校
設置者名	学校法人 片山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業科目ごとに、履修による習得知識、スキルを定める。</li> <li>・ 授業概要に準じた、指導及び授業方法（講義形式、実習方式）を定める。</li> <li>・ 授業日程、回数に応じた、授業進行計画を定める。</li>   <li>・ 授業計画は前年度末に計画し、新年度初めに公表する。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	事務所備え付け
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画の進行に応じた、小テストや学期末試験を実施し習得度を計る。</li> <li>・ 授業計画の進行に準じた、実習課題の進捗状況及び成果、完了、完成による習得度、完成度により評価とする。</li> </ul>	
<p>※ 以下、学則第 9 条に定める</p> <p>授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。</p> <p>ただし、出席時数が授業時数の 80%に達しない者はその科目について評価を受けることができない。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人成績を指標算出し、成績の分布を表し各学生が自己の習得状況確認を取れるようにする。</li> <li>・履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務所備え付け</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・履修年限以上在籍し、学年末において授業科目毎に出席時数が開講授業数の 80% 以上であり、試験あるいは実習課題の成果による評価により判定、合格する事で単位認定とする。</li> <li>・2年間で全ての必須科目の単位取得および合計 160 単位 (1800 時間) 以上の単位取得で卒業を認定する。</li> <li>・学年学期毎に、最終学年末に教務部による成績会議で最終確認を行い、卒業を認定している。</li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務所備え付け</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	富山クリエイティブ専門学校
設置者名	学校法人 片山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所備え付け
収支計算書又は損益計算書	事務所備え付け
財産目録	事務所備え付け
事業報告書	事務所備え付け
監事による監査報告（書）	事務所備え付け

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		文化・教養 専門課程	デザイン学科 (グラフィックコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	160 単位以上	30 単位	68 単位	102 単位	単位時 間/単位	単位時 間/単位
200 単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人 内数		26 人 内数	0 人	2 人 内数	8 人 内数	10 人 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業科目ごとに、履修による習得知識、スキルを定める。 ・授業概要に準じた、指導及び授業方法（講義形式、実習方式）を定める。 ・授業日程、回数に応じた、授業進行計画を定める。
成績評価の基準・方法
（概要） ・個人成績を指標算出し、成績の分布を表し各学生が自己の習得状況確認を取れるようにする。 ・履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・履修年限以上在籍し、学年末において授業科目ごとに出席時数が開講授業数の 80% 以上であり、試験あるいは実習課題の成果による評価により判定、合格する事で単位認定とする。 ・2年間で全ての必須科目の単位取得および合計 160 単位（1800 時間）以上の単位取得で卒業を認定とする。 ・学年学期ごと、最終学年末に教務部による成績会議で最終確認を行い、卒業を認定している。
学修支援等

(概要) ・履修必要分、授業回数、履修時間の開講の為、補講を行う。  
 ・習得不足が見られる場合、補習、再試等を行い。習得の向上を図る。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 ( 100 %)	0人 ( %)	9人 ( 100 %)	0人 ( %)
(主な就職、業界等) デザイン会社、Web制作会社、印刷会社、等			
(就職指導内容) 学内企業ガイダンス、ワークル講座、個人面談、書類作成指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 色彩検定、建築CAD検定、等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

## ②学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		文化・教養 専門課程	デザイン学科 (イラストコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	160 単位以上	30 単位	68 単位	102 単位	単位時 間/単位	単位時 間/単位
			200 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人 内数		26 人 内数	0 人	2 人 内数	8 人 内数	10 人 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）・授業科目ごとに、履修による習得知識、スキルを定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業概要に準じた、指導及び授業方法（講義形式、実習方式）を定める。</li> <li>・授業日程、回数に応じた、授業進行計画を定める。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人成績を指標算出し、成績の分布を表し各学生が自己の習得状況確認を取れるようにする。</li> <li>・履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）・履修年限以上在籍し、学年末において授業科目ごとに出席時数が開講授業数の 80% 以上であり、試験あるいは実習課題の成果による評価により判定、合格する事で単位認定とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間で全ての必須科目の単位取得および合計 160 単位（1800 時間）以上の単位取得で卒業を認定とする。</li> <li>・学年学期ごと、最終学年末に教務部による成績会議で最終確認を行い、卒業を認定している。</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）・履修必要分、授業回数、履修時間の開講の為、補講を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習得不足が見られる場合、補習、再試等を行い、習得の向上を図る。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 ( 100 %)	0 人 ( %)	3 人 ( 75 %)	1 人 ( 25 %)
(主な就職、業界等) デザイン会社、Web 制作会社、印刷会社、等			
(就職指導内容) 校内企業がイタンス、ワークル講座、個人面談、書類作成指導 等			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) 色彩検定、建築 CAD 検定、等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	1 人	20 %
(中途退学の主な理由) ・進路変更のため (他ジャンルを改めて希望)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任制を取り、面談を取り入れるなど日頃より個々の変化に対応。		

### ③学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		文化・教養 専門課程	デザイン学科 (Webデザインコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	160 単位以上	30 単位	68 単位	102 単位	単位時 間/単位	単位時 間/単位
			200 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人 内数		26 人 内数	0 人	2 人 内数	8 人 内数	10 人 内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業科目ごとに、履修による習得知識、スキルを定める。 ・授業概要に準じた、指導及び授業方法 (講義形式、実習方式) を定める。 ・授業日程、回数に応じた、授業進行計画を定める。
成績評価の基準・方法
(概要) ・個人成績を指標算出し、成績の分布を表し各学生が自己の習得状況確認を取れるようにする。 ・履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・履修年限以上在籍し、学年末において授業科目ごとに出席時数が開講授業数の 80% 以上であり、試験あるいは実習課題の成果による評価により判定、合格する事で単位認定とする。 ・2 年間で全ての必須科目の単位取得および合計 160 単位 (1800 時間) 以上の単位取得で卒業を認定とする。



・学年学期ごと、最終学年末に教務部による成績会議で最終確認を行い、卒業を認定している。
学修支援等
(概要) ・履修必要分、授業回数、履修時間の開講の為、補講を行う。 ・習得不足が見られる場合、補習、再試等を行い。習得の向上を図る。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (%)	4人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) デザイン会社、Web制作会社、印刷会社、等			
(就職指導内容) 校内企業がイダンス、ワークル講座、個人面談、書類作成指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 色彩検定、建築CAD検定、等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

④学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		工業専門課程	建築学科 ( 建築設計コース )	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	160 単位 以上	62 単位	56 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	88 単位
			206 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人 内数		19 人 内数	0 人	3 人 内数	10 人 内数	13 人 内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業科目ごとに、履修による習得知識、スキルを定める。 ・授業概要に準じた、指導及び授業方法 (講義形式、実習方式) を定める。 ・授業日程、回数に応じた、授業進行計画を定める。
成績評価の基準・方法
(概要) ・個人成績を指標算出し、成績の分布を表し各学生が自己の習得状況確認を取れるようにする。 ・履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・履修年限以上在籍し、学年末において授業科目ごとに出席時数が開講授業数の 80% 以上であり、試験あるいは実習課題の成果による評価により判定、合格する事で単位認定とする。 ・2年間で全ての必須科目の単位取得および合計 160 単位 (1800 時間) 以上の単位取得で卒業を認定とする。 ・学年学期ごと、最終学年末に教務部による成績会議で最終確認を行い、卒業を認定している。
学修支援等
(概要) ・履修必要分、授業回数、履修時間の開講の為、補講を行う。 ・習得不足が見られる場合、補習、再試等を行い、習得の向上を図る。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 ( %)	10 人 ( 100%)	0 人 ( %)
(主な就職、業界等) 建設業界、建築設計、住宅産業 等			

(就職指導内容) 学内企業がゲスト、ワークル講座、個人面談、書類作成指導 等
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 色彩検定、建築 CAD 検定、二級建築士 受験資格取得 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

### ⑤学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		工業専門課程	建築学科 (インテリアデザインコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	160 単位 以上	62 単位	56 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	88 単位
206 単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人 内数		19 人 内数	0 人	3 人 内数	10 人 内数	13 人 内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業科目ごとに、履修による習得知識、スキルを定める。 ・授業概要に準じた、指導及び授業方法 (講義形式、実習方式) を定める。 ・授業日程、回数に応じた、授業進行計画を定める。
成績評価の基準・方法
(概要) ・個人成績を指標算出し、成績の分布を表し各学生が自己の習得状況確認を取れるようにする。 ・履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。

<p><b>卒業・進級の認定基準</b></p> <p>(概要) ・履修年限以上在籍し、学年末において授業科目ごとに出席時数が開講授業数の 80% 以上であり、試験あるいは実習課題の成果による評価により判定、合格する事で単位認定とする。</p> <p>・2年間で全ての必須科目の単位取得および合計 160 単位 (1800 時間) 以上の単位取得で卒業を認定とする。</p> <p>・学年学期ごと、最終学年末に教務部による成績会議で最終確認を行い、卒業を認定している。</p>
<p><b>学修支援等</b></p> <p>(概要) ・履修必要分、授業回数、履修時間の開講の為、補講を行う。</p> <p>・習得不足が見られる場合、補習、再試等を行い、習得の向上を図る。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1 人 (100%)	0 人 ( %)	1 人 ( 100.0 %)	0 人 ( %)
(主な就職、業界等) 住宅産業 等			
(就職指導内容) 校内企業がイダンス、ワークル講座、個人面談、書類作成指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 色彩検定、建築 CAD 検定、等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
デザイン学科	220,000 円	500,000 円	340,000 円	
建築学科	220,000 円	500,000 円	340,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所備え付け		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な評価項目を以下のように定める 教育活動として 『 教育目標、教育方法、評価等 』 教育成果として 『 就職指導、就職率、就職支援体制等 』</li> <li>・ 評価委員会を企業、保護者の会、卒業生より 4 名選任し 2 年任期とする。 ( 設立年度更新につき、1 年任期委嘱とする。次年度より 2 年任期とする。 )</li> <li>・ 評価委員会を年度末前に実施し、改善点を次年度より実施する体制とする。</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
代表取締役 社長	令和 2 年, 4, 1~令和 3 年, 3 評価委員会開 催日まで	企業関係者
保育教諭	令和 2 年, 4, 1~令和 3 年, 3 評価委員会開 催日まで	保護者関係者
会社員	令和 2 年, 4, 1~令和 3 年, 3 評価委員会開 催日まで	保護者関係者
主婦	令和 2 年, 4, 1~令和 3 年, 3 評価委員会開 催日まで	卒業生関係者

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所備え付け
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)  <a href="http://www.creative.ac.jp">http://www.creative.ac.jp</a>
--